

1 準備

用意するもの

- ・五千分の一以上の白地図
- ・鉛筆、色鉛筆、カメラ、地域資源カード、のり、画板
- ・その他 虫取り網、玉網、バケツ、袋など

地図に川と集水域を書く

- ・川を青でぬり、その周囲の山頂を線でつなぐと集水域がわかります



歩いて見つけたもの、写真にとったものをカードに貼りつけて、すまい方、食べ方、言い伝えなど、くわしい人に話を聞いて書きこみます。

地図のぬりかたの一例

調査地域の集水域	△---△---
湧水	●●●
水源(川)	●—
ため池、砂防堰	○ — I
農業用水	---
水路のコンクリート化	----- 水路の左右に記入
簡易水道	- - - - -
井戸	●
植生	針葉樹 ■ 広葉樹 □(塗らない) 竹林 ■
田んぼ	耕作 ■ 耕作していない ✕
果樹	柿 ○ 作物名
畑	大豆 / きゅうり ○ 作物名と、年間作物 カレンダー
自然神、山神、海神、野仏	π
生き物	地図上に記入(タニシ、カワニナ、ドジョウ、カエル、ムジナの足跡、オニヤンマ、ゲンゴロウ…)
集落と庭	薬草、食べられる植物を探して地図に書き込み、資源カードを作成
道具	運ぶ道具、耕す道具、加工する道具、計る道具 等を調べ資源カードを作成

班分け

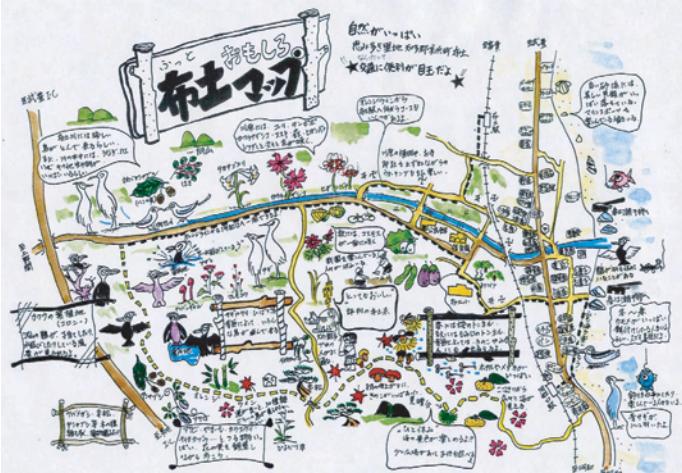
- ・集水域の水の流れに沿って、班を作ります
- ・班には、地元案内人とヨソ者を必ず入れます
- ・班ごとに、地図を分け、川、山頂、水田、畠などをぬり分けます
- ・班の中で地図係・カメラ係・記録係、または、水路係・田畠の係・植生の係など目的別に役割を決めます



大人だけでも、ふだんあまりつきあいのない人でも、子どもでも、みんながいっしょになって作業できます。



水源から水の流れにそって歩いて調べた水のゆくえ、植生、田畠の状況、生き物のいる場所を地図に書きこみます。



仕上がった地図は、どこにもない、世界にひとつだけの「私たちの地図」になります。

2 現地調査 あるものさがし

■歩くところ

- ①水のゆくえ： 調べる地区の中で、水源に近い、一番高いところにいって全体を見渡し、水の流れに沿って歩きます。
- ②集落の生活文化： 地元の案内人といっしょに、裏山、田畠、農家の庭先、蔵なども訪ねて回ります。住まい方、料理や祭、しきたり、家の向き、庭に咲いているもの、毎日の食事など、出会った人に聞いてみます。

■あるもの探しの視点

下の10項目を頭に入れながら、みんなで歩きましょう。

- ①水のゆくえ： 家の水は、どこから来ていますか？どこへ流れていますか？
- ②有用植物： 家の周りで、食べられる植物、薬になる植物はどこにありますか？
- ③いい伝え： 自然神はどこにありますか。その神様は何の神様で、どういう意味ですか？
- ④鎮守の森： 水源や自然神の周囲にはどのような樹木が生えていますか？
- ⑤生き物： 家の周りの川や野山にはどのような生き物がいますか？
- ⑥昔遊び： おじいさん、おばあさんは、昔どのような遊びをしていましたか？
- ⑦地域の知恵袋： 集落にはどのような人が住んでいますか？
- ⑧地域資源： 集落の人が大切



している場所、もの、宝物は何ですか？

- ⑨食べ物： 家の周りではどのような野菜や食べ物を作っていますか？
- ⑩もののゆくえ： 食べ物、道具、木材、ごみなどは、どこからきて、どこへ行きますか？

■なにをするの？

- ①写真を撮る： 歩いていて見つけたもの・気がついたこと・驚いたことなどを写真に撮ります。写真をとった場所を、地図に書き入れます。
- ②話を聞く： 写真に撮ったものや見つけたものが何なのか、地元での名前や呼び方、使い方、食べ方、物語を詳しい人に聞き、地域資源カードに書き入れます。

3 まとめ

地図

- 班ごとに地図を完成させ、全部の班の地図をひとつに貼りあわせます。

地域資源カード

- 写真を貼りつけて、聞いた話をまとめます。さらに、いろんな人にくわしく話を聞いて、書きこみます。
- 全部の班の地域資源カードができたら、テーマごとにまとめて並べます。

発表 共有

- 地図と地域資源カードをずらりとならべ、みんなで一番びっくりしたことや気がついたことを発表します。

